

5.1 アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

福山平成大学は、時代の変化に対応できる知識と技術に裏付けられた「総合的な問題解決能力」を身につけ、幅広い視野のもとで自分の責任で考え、選択し行動できる人、即ち、これから社会で活躍できる人材を育成します。本学ではこの目標の実現に向けて、次のような人の入学を期待します。

1. 自ら学び、自ら考え未来を切り拓く意欲がある人
2. 自己実現に向けた目的意識をもち、継続して努力ができる人
3. 実社会で即戦力となることを目標にして、積極的に取り組みができる人

・経営学部 経営学科

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的を持って主体的に学生生活を送ろうという意欲を持っている人
2. 現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういった問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人
3. 将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人

・福祉健康学部 福祉学科

福祉学科では、「共感と共生」を基本にしたウェルビーイングの理念を柱に、互いの違いを理解し共感する心をもち、自立の支援・共生を可能にする専門知識と実践力を備えた福祉専門職を育成します。そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 社会福祉及び関連分野に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ 意欲のある人
2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力を高めるための自己学修に意欲のある人
3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践力を高めるための行動ができる人
4. 自分や他者の人権について高い意識をもち、人の幸せを支援することに生き甲斐を感じることのできる人

・福祉健康学部 こども学科

こども学科では、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を主な目的とし、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出し、子どもを取り巻く社会状況の変化に対応することができる人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 保育者・教育者としての素養を身につけようとし、自ら知識を得ようとする人
2. 発達と学習を促進する支援と指導の力をつけようとする人
3. より良い地域・社会の創出に取り組もうとする人

・福祉健康学部 健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図ります。更に「健康」・「スポーツ」・「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者等の人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人

・看護学部 看護学科

看護学科では、「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」の本学の教育理念を基に、将来の看護実践者・指導者・教育者としての人材を育成します。 そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊重することのできる人
2. 看護専門職として夢と関心をもち、看護の学修に積極的に取り組む姿勢をもっている人
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、あたたかい心でコミュニケーションがとれる人
4. 社会の一員として自覚と倫理観をもち、看護専門職として人の役に立ちたいと思っている人
5. 多様な価値観や異なる文化を理解しようとする姿勢をもっている人

・大学院 経営学研究科

経営学研究科では、公的機関や民間企業に勤務する社会人だけでなく、学部新卒者や留学生も含めて、専門分野を一切問わず、様々なバックグラウンドを有する人々を幅広く受け入れます。求めている具体的な学生像は次のとおりです。

1. 様々な組織が直面する経営上の課題について、高い関心と旺盛な研究意欲を持つ

人。

2. 職業上の経験に根ざした強い問題意識を持ち、高度の専門的知識、実践能力、問題解決能力を習得する意欲のある人。
3. 修士課程の講義の受講や修士論文作成に必要な、一般常識や日本語の文章作成力を有する人。

・**大学院 スポーツ健康科学研究科**

近年、健康とスポーツに求められる価値は多様化の一途をたどり、身体活動を媒介するところでは共通するものの、その運動実践に対する意味や価値創出の背景には閉塞感が蔓延しています。このような時代にこそ、新しい発想や着眼点から、独創的な試みや挑戦をしようとする人材が求められています。そこで、スポーツ健康科学研究科では、下記のような明確な目標をもった人材を求めます。

1. 健康とスポーツ、そして教育分野で活躍する具体的な将来ビジョンを有している人。
2. 仮説-検証プロセスに基づき、健康・スポーツ文化活動を科学的に分析したいと希望する人。
3. これまでにない新しい価値の創造や可能性に挑戦したいという意志を有している人。

・**大学院 看護学研究科**

本研究科では、少子超高齢化社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々の QOL 向上を目指し、生活者の視点で広範・多様化する健康社会を支える高いレベルの実践能力と倫理観を備えた看護専門職を育成します。そのために、次のような意欲と熱意を持った人を積極的に受け入れます。

1. 看護学および保健医療福祉領域における研究に意欲を持つ人。
2. 健康問題を幅広い視野で総合的に捉え、新しい分野の開拓や理論の創出に意欲を持つ人。
3. 看護管理・教育学領域および地域健康看護学領域の研究に自ら積極的に取り組み、社会に貢献する意欲を持つ人。

・**助産学専攻科**

助産学専攻科では、女性や家族に寄り添い、生涯にわたる女性の健康を支援できる人材を育成します。そのために、次のような意欲と熱意を持った人を積極的に受け入れます。

1. 母性看護学に関心を持ち、学び、自己研鑽することができる人
2. 母性看護の対象であるすべての年代の女性の母性を健全に育成する役割を果たす

ことができる人

3. 豊かな人間性と倫理観に裏づけられた感性を持っている人
4. 将来、助産師として地域社会に貢献することができる人